

朝霧野外活動センター指定管理第4期（令和2年度から令和5年度）期間評価結果

◇ 評価項目・評価ポイント

評 価 項 目		評価ポイント
評 価 の 総 括		A
項 目 別 評 価	① 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理	A
	② 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営	A
	③ 青少年の健全な育成を図る事業の運営	A
	④ 利用者への適切な対応	A-
	⑤ 青少年教育施設としての目的にあった活動の展開	A+
	⑥ 安全な野外活動実施のための取組について	A
	⑦ 提案や要望に対する実行状況	A

(参考) 9段階評価ポイントの意味

記 号	意 味	その他
A	十分満足できる	ABC に対し、必要に応じて+の付加記号を付ける。
B	おおむね満足できる	
C	努力を要する	

◇ 評価の総括 【9段階評価 A+ **A** A- B+ B B- C+ C C-】

- ・期間の大部分で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。しかし、利用ができない時期、少ない時期には、施設的环境整備や職員の資質向上に取り組んでいた。コロナ禍における施設の運営に関しても、状況に応じた対応を取ることに努めていた。これらの点が高く評価できる。
- ・期間を通して、施設の管理・運営、事業の運営、利用者への対応、青少年教育施設の目的にあった活動、安全な野外活動の取組、提案・要望への実行状況のいずれも、高い評価を得ている。
- ・申込手續の電子化を実現した点も、高く評価できる。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以後、職員の業務が増え、電話の対応が難しくなっている。対応策は取られてきているものの、今後も引き続き検討が必要と考える。
- ・当期間は、コロナ禍による収入減少、物価高騰による費用増加など、厳しい環境に置かれていたが、その中でも費用削減を徹底し、自主事業の増加による収入増に努め、令和5年度以外は収支差プラスを維持し続け、令和5年度収支差マイナスであったが少額にとどめた。運営代表団体の財務状態は、期間を通して、特に問題ないと思われる。

◇ 項目別評価

①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理 〔 9段階評価 A 〕

- ・青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理は十分満足できるものである。
- ・利用者からの声に対して可能な範囲ですぐに対応・修繕にあたるなど安全・安心に利用できる施設づくりに向けた職員の高い意識がうかがえる。
- ・施設の老朽化や施設の魅力である設備のアップデートについては県と相談して補修や更新を計画的に取り組むことで、より魅力的な施設になることを期待する。

②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営 〔 9段階評価 A 〕

- ・職員の資質向上の取組に対して、期間全体を通して高く評価されている。コロナ禍で利用がキャンセルとなった時期には、その時間を活用して資質向上の取組がなされることもあった。
- ・令和5年度にホームページがリニューアルされ、広報活動・情報発信の体制がさらに整えられた。
- ・食堂の運営に関し、コロナ禍では動線に課題があったが、適切に対応された。食物アレルギー対応に関する課題に対しては、食堂スタッフへの研修や対応の見直しを行い改善に努めてきた。

③青少年の健全な育成を図る事業の運営 〔 9段階評価 A 〕

- ・期間を通して、様々な年代、団体を対象にした質の高い野外プログラムを提供しており、コロナ禍でも、着実に事業を展開してきている。
- ・キャンプの魅力を味わえる新規事業や指導者養成講習も積極的に取り組んでいる。
- ・朝霧の自然環境の魅力を感じる利用者は多く、今後のさらなる利用者の獲得と、青少年の健全な育成を目指し活動プログラムの充実が図られていくことを期待する。

④利用者への適切な対応 〔 9段階評価 A- 〕

- ・利用団体の打合せ時など、職員の専門性を生かし、丁寧かつ分かりやすい対応がされている。
- ・コロナ禍において、利用団体の安全に対する要望に答えたり、コロナ禍を経て、変わってきた利用団体の要望に応えるために、新規プログラムの開発に努めたりしていた。
- ・今年度、団体利用申込みが電子化され、利便性の向上が図られた。しかし、連絡、確認事項があるときに電話連絡がつきにくいという声がある。事務室に配置する職員を工夫するなど、利用者の要望や心配事に応える体制づくりを考えてほしい。

⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開 〔 9段階評価 A+ 〕

- ・広大な野外を活用した教育的効果の優れるプログラムは、利用者の満足度と施設側の目的の均衡が取れており高く評価できる。
- ・環境の変化にも柔軟に対応し、成果をあげている。
- ・施設の徹底した安全管理や防災についての意識も高く、青少年の教育施設として適切である。

⑥安全な野外活動実施のための取組について 〔 9段階評価 A 〕

- ・野外活動実施に対する安全の取組において、段階的な試行錯誤があり、特にこの期間はコロナ禍とその後の利用者の増減により、安全に対する配慮に限らず、さまざまな対応に迫られたことが想像できる。その期間内で、大きなトラブルの発生もなく、回復に備えた対策が練られたことを評価したい。

⑦提案や要望に対する実行状況 〔 9段階評価 A 〕

- ・期間を通して、提案や要望に対し、積極的かつ適切に対応している。
- ・教員の野外活動スキルをカバーするために、任意参加の研修会を開催している。現時点では参加人数は少ないが、重要な研修であるため参加者が増えるよう広報活動を工夫し、引き続き、開催をお願いしたい。